

FUMA CONTEMPORARY TOKYO | BUNKYO ART

## DAISUKE KATO



加藤大介展「夜明け前の子供たち」

2012年10月19日(金) - 11月3日(土)

オープニングレセプション 2012年10月19日(金) 17:00 - 19:00

11:00 - 18:30 Close on Sundays and Mondays



浄化の秘法  
2012 / H104xW35xD45 cm  
乾漆像に色漆で彩色  
顔料・金粉・朴



希望の落下点  
2012 / H105xW41xD25 cm  
乾漆像に色漆で彩色  
黄蝶貝・金粉・桜



虹の予感  
2012 / H84xW24xD36 cm  
乾漆像に色漆で彩色  
白蝶貝・金粉・銀粉・樟

## 加藤大介展 「夜明け前の子供たち」

会期 2012年10月19日(金) - 11月3日(土)

会場 Fuma Contemporary Tokyo | Bukyo Art

オープニングレセプション 2012年10月19日(金) 17:00 - 19:00

11:00 - 18:30 日・月休廊

Date Oct. 19, Fri - Nov. 3, sat, 2012

Venue Fuma Contemporary Tokyo | Bukyo Art

Opening Reception Oct. 19, Fri, 2012 17:00 - 19:00

11:00 - 18:30 Close on Sundays and Mondays

FUMA Contemporary Tokyo | Bunkyo Art は加藤大介展「夜明け前の子供たち」を開催致します。加藤大介は木彫で制作した動植物や虫の仮面を乾漆技法で表現した人物像に被せる立体作品を制作しています。人物像に用いている乾漆技法は、まず粘土で原型を作るところから始めます。次に石膏で型を取り、型の内側に麻布を漆で張り込み必要な厚みになったところで型を合わせ、最終的に型を壊して中の像を取り出します。彩色は色漆と蒔絵、また一部顔料が使用されています。仮面は全て木を素材とし、異なる素材を組み合わせる事で仮面の異質な存在を強く印象付け、加えて頭部に木の持つ原始的な生命感を取り入れる事で神聖な趣を醸し出します。現代に生きる若者像を作り、そこに仮面を被せることで生まれる物語性をテーマとし、顔を隠すことでその人の持つ感情や精神性を見るものにより強く想像させます。そこへ仮面そのものが持つ印象や、隠すという行為、あるいは変身するという行為そのものが持つイメージを加えることで、作品により物語性が生まれてきます。人物像のモチーフは、しばらく作家と同世代を想定し制作してきましたが、震災以降次の世代に負の遺産を先送りしている現状を嘆き、子供という次世代を象徴する存在を題材とするようになりました。今展では、暗く重苦しい現代に弱く儂い存在である子供達が現実を超越した存在へと変化する、そんな願いを込めて制作された新作3点を展示致します。

FUMA CONTEMPORARY TOKYO | BUNKYO ART

104-0042 東京都中央区入船1-3-9長崎ビル9F

9F, Nagasaki Bldg., 1-3-9 Irifune, Chuo-ku, Tokyo, 104-0042 Japan

Tel 03.6280.3717 Fax 03.6280.3717

e-mail [bunkyo-art@wind.ocn.ne.jp](mailto:bunkyo-art@wind.ocn.ne.jp)

website [www.bunkyo-art.co.jp](http://www.bunkyo-art.co.jp)